

令和7年度 理知の杜日本語学校仙台校自己点検・評価シート

◆評価方法

- A 「達成されている」若しくは「適合している」
- B 「概ね達成されている(適合している)が、不十分なところが残っている。」
- C 「未達成(未適合)だが、達成若しくは適合になるために取り組んでいる。」
- D 「未達成若しくは適合していない。今後の課題である。」

X該当しない。

理念・教育目標・育成する人材像		
1.理念		
・国際化社会において、さらなるグローバル化の進展が見られる中、必要不可欠なことは、国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、その実現には、民間(一般)レベルでの深い相互理解も大きな役割を担うことが必要であると考えている。		
2.教育目標		
・日本語の修得を希望する海外の優秀な人材を受入、日本語教育を通して、日本に対する深い理解と調和のとれた国際人を育成し、日本の将来の発展に貢献できる人材を育成する。		
3.育成する人材像		
・諸外国の言語、文化、習慣を理解し、受容し、調和していける人材がこれからより一層求められる。日本語で「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを修得し、不自由なくコミュニケーションが図れるような能力を育成すると同時に、日本の「文化」「習慣」等も教授し、日本に対する深い理解を持てるような人材を育成する。		
		評価
1-1	理念が、教職員にしっかり周知されているか。	A
1-2	教育目標が、教職員にしっかり周知され、その実現に向けて鋭意努力しているか。	B
1-3	育成する人材が、社会の要請に合致しているか、そして、人材像が教職員及び学生に周知されている	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・認定日本語教育機関申請に向けて、もう一度本校としての理念や教育目標を全職員が意識し、実現へ努力していくことが重要であると考えている。 ・日本語でのコミュニケーションは日々の授業や学校生活で育成できていると思うが、異文化理解の場がより一層必要である。 		
		評価
2-1	理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。	A
2-2	組織運営や人事、財務管理規定が整備されているか。	B
2-3	教職員の採用・定員管理・研修及び評価は適切に行われているか。	B
2-4	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。	B
2-5	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。	A
2-6	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。	A
2-7	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。	A
2-8	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。	C
2-9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のコンプライアンス意識を高める取組などは十分にはできていなかったため、来年度以降は確実な実施が望ましい。 ・外国語を話せるスタッフが、新たに採用されたので来年度以降入学志願者に対して、情報提供が、昨年度よりも遂行されると考えられる。 		

3.教育活動		
(1)教育活動の計画		評価
3-1-1	日本語教育機関の告示基準第六（教育課程）は守られているか	A
3-1-2	理念・教育目標に合致したコース設定をし、目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。	A
3-1-3	国内、または国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。	B
3-1-4	教育目標に合致した教材を選定しているか。	A
3-1-5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。	A
3-1-6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育の参照枠に基づいた教育課程の設計は十分に行えていない状況であった。認定日本語教育機関としての開設に向け、教育課程の見直しを行っていく。 		
(2)教育活動の実施		評価
3-2-1	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。	A
3-2-2	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴、その他、指導に必要な情報を伝達しているか。	A
3-2-3	学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。	A
3-2-4	授業記録及び出席簿を備え、正確に記録しているか。	A
3-2-5	理解度・到達度の確認を実施期間中に行っているか。	A
3-2-6	特別に支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 特別に支援が必要とする学習者かどうかの判断が難しいところがある。その基準をどう作っていくかが課題である 		
(3)教育活動を担う教職員		評価
3-3-1	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。	A
3-3-2	教育の指導力向上のための取組を行っているか。	B
3-3-3	生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。	A
3-3-4	入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。	A
3-3-5	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。	A
3-3-6	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。	C
3-3-7	教員及び職員の評価を適切に行っているか。	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 法人事務局と連携し教職員研修の充実が求められると考える。オンラインでもよいと思うので、全職員向けのコンプラ研修等が充実していくべきである。 指導力向上のための取組は個人では行っているが、今より多く職員や学校全体での研修があればもっとスキルアップできる。研修の充実が課題であると考え。 法人事務局と連携し、教職員の評価についてよい一層明確な評価基準・制度があれば一人一人の意識の向上に繋がるのではなか。 		

4.学修成果		
(1)成績判定と授業評価		評価
4-1-1	判定基準及び判定方法が明確に定められ適切に行われているか。	A
4-1-2	成績判定結果を的確に学生に伝えているか。	A
4-1-3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。	B
4-1-4	学生による授業評価を定期的の実施しているか。	C
4-1-5	授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。	A
課題・改善点		
<p>・これまで一部のクラスで授業の流れに関するフィードバックを得てきたが、すべての担当科目で体系的に実施しているわけではない。今後は、各科目ごとに評価項目を明確にしたうえで計画的に実施する必要がある。学生による授業評価については、実施方法も含めて検討課題である。</p>		
(2)教育成果		評価
4-2-1	入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。	A
4-2-2	修了・卒業の判定を適切に行っているか。	A
4-2-3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。	A
4-2-4	卒業又は修了後の進路を把握しているか。	A
4-2-5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。	B
課題・改善点		
<p>・進学先が決まらず本校の課程終了後に帰国予定の学生に関しては、卒業後も現状の把握をするよう努めることが必要だと思う。</p> <p>・卒業生の状況については、進学先との連携が必要なる部分もあるため、今後の課題である。</p>		
(3)進路に関する支援		評価
5-3-1	学生の希望する進路を適切に把握しているか。	A
5-3-2	進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。	A
5-3-3	入学時から一貫した進路指導を行っているか。	A
課題・改善点		
<p>・外部の進路イベントに参加したり、専門学校や大学と連携してオンライン説明会を実施している点は、学生にとっていい環境である。今後も継続していきたい。</p> <p>・進学資料は十分取り寄せられているが、それを学生が閲覧しやすくする取り組みが今後の課題である。</p>		
5.学生支援		
(1)学生支援		評価
5-1-1	学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。	A
5-1-2	学習相談に対する支援体制が整備されているか。	A
5-1-3	進路に対する支援体制が整備されているか。	A
5-1-4	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。	A
5-1-5	住居支援を行っているか。	A
5-1-6	アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。	A
5-1-7	健康管理、衛生管理について支援する体制を整えているか。	A
5-1-8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか。	A
5-1-9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。	A
5-1-10	交通事故等の相談体制を整備しているか。	A

5-1-11	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施しているか。	A
5-1-12	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか。	B
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・認定日本語教育機関申請を重要な機会とし、危機管理体制など全職員でもう一度見直して改善していきたい。 ・日本の習慣（主に日本の交通ルール、マナー等）を身につけることができない学生に対しての支援が、不十分な面があるので根気強く指導する必要がある。 ・年度途中からではあるものの、交通安全のため、学校の近くにある横断歩道や橋の近くに職員が立ち、自転車の乗り方の指導を行い、交通ルールを守る学生が増えた点は評価できる。 ・今までと同じ方法での指導では不十分であった場合は、別な対策を講じるための検討が必要である。 		
(2)入国・在留に関する指導及び支援		評価
5-2-1	入管事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を行っているか。	A
5-2-2	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。	A
5-2-3	在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。	A
5-2-4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか。	A
5-2-5	過去2年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・入管法上の留意点について、学生への指導を徹底している。そのため、不法残留者は、一人もない点は高く評価できる。 		
6.教育環境		評価
6-1	安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。	A
6-2	教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。	A
6-3	教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。	A
6-4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。	B
6-5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。	A
6-6	同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。	A
6-7	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。	A
課題・改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・教材を学生自ら図書室で借りるなど、一般的にイメージする図書室として利用できる学生は現状少ない。改善するならば本に興味を持ってもらうことや、図書室内の本を紹介するコンテンツ、貸出や返却を管理するシステム等が必要であると考えます。 ・学生が使えるようなメディアは充分とはいえないため、今後整備が必要である。 		

7.入学者の募集と選考		評価
7-1	入学者の募集は、学生の受入方針に基づき適切に行われているか。	A
7-2	入学志願者に本校の学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。	A
7-3	海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。	A
7-4	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか。	A
7-5	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。	A
7-6	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。	A
7-7	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されているか。	A
課題・改善点		
<p>・オンラインの日本語面接試験において、一部の受験環境による影響が見られた。特に、ヘッドフォンの使用有無によって結果に差が生じる傾向が確認されたため、公平性を考慮し、ヘッドフォンの使用を控える運用とした。</p>		
8.財務		評価
8-1	財務状況は、中長期的に安定しているか。	A
8-2	予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。	A
8-3	適正な会計監査が実施されているか。	A
8-4	財務情報の公開の体制はできているか。	A
課題・改善点		
<p>・財務状況等、法人事務局との連携の元、校内で管理すべき点についてはさらに精査し、考えていく必要がある。</p>		
9.法令遵守		評価
9-1	出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。	A
9-2	個人情報保護のための対策をとっているか。	A
9-3	地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか。	B
課題・改善点		
<p>・法人の役員変更に係る報告について、一部対応に遅れが生じた点があった。法人事務局との連携を強化したい。</p>		
10.地域貢献・社会貢献		評価
10-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	B
10-2	学生ボランティア活動への支援を行っているか。	C
10-3	公開講座等を実施しているか。	C
課題・改善点		
<p>・地域との関わりは現状、町内会との交流が中心となっているが、七夕飾りの掲出などを通じて、地域との関係は徐々に広がっている。今後は、近隣の清掃活動等の小規模な取り組みから参加し、地域住民とのより直接的な交流機会を増やすことで、地域社会への貢献につなげていくことが望まれる。</p>		